

健康寿命を延ばし脱炭素社会に寄与

コンクリート構造物補修補強フォーラム

約200名が講演に耳を傾ける—JCMA

(一社)コンクリートメンテナンス協会(JCMA、徳納剛会長)は7月18日、新潟市の朱鷺メッセメインホールで「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2024」を開催した。

今回のフォーラムは、「持続可能な未来を築くための実践的アプローチ」をテーマに掲げ、コンクリート構造物の維持管理の考え方や、補修・補強技術に関する実例などを紹介した。当日は約200名がフォーラムに参加し、各公演に耳を傾けていた。

冒頭にあいさつした徳納会長は「コンクリート構造物の健康寿命を延ばすことで、CO2排出量の多い撤去・新設工事を減らすことができ、脱炭素社会の構築に寄与し、持続可能な社会を実現することに繋がる」と指摘。また、国内のコンクリート構造物の高齢化が進み、予防保全の取り組みも進めなければならないことから、適切な調査・診断や補修を行うことは技術者の責務であると語った。

講演では、北陸地方整備局道路部の猿子求道路保全企画官が、国土交通行政の最新動向を紹介。高齢化が進む社会資本の状況を解説し、特に北陸管内における橋梁では、建設後50年を経過する橋梁の割合が10年後に約62%へ達するとした。

その上で、昭和4年に開通した萬代橋(新潟市)など、適時適切な補修・補

強を行えば建設後80年を超えても大きな損傷なく使用できると話した上で、損傷が深刻化してから大規模な修繕を行う「事後保全型」から、損傷が軽微なうちに補修を行う「予防保全型」への転換が重要であると伝えた。

このほか、今回のフォーラムで行った講演内容および講師は以下の通り(敬称略)。

▶コンクリートの劣化機構を理解して維持管理に活かす=江良和徳(JCMA技術委員長)

▶電気防食技術と施工実例の紹介=小林浩之(CP工法研究会・エルガード協会)

▶亜硝酸リチウム設計・施工指針(案)の解説と活用=江良和徳(JCMA技術委員長)

▶持続可能なコンクリート構造物を可能とする非破壊検査・点検技術=真鍋英規(CORE技術研究所)



徳納会長



フォーラムのようす

グリーンインフラ大賞の募集を開始

9月25日まで受付—国交省

国土交通省は、水や緑を生かしたまちづくりなどの優れた取り組みや計画事例を表彰する。第5回グリーンインフラ大賞の応募を9月25日まで受け付け、11月に審査する。国土交通大臣賞と特別優秀賞は、令和7年1月29日に「グリーンインフラ産業展2025」で表彰する。

募集対象は、グリーンインフラに関する取り組み全般で、企画・計画、施工

中の事業も対象とする。5年9月に公表された「グリーンインフラ推進戦略2023」に基づき、防災・減災、都市・生活空間の形成、生態系保全などの取り組みを募集する。

国交省は、官民が一体となって「グリーンインフラのビルトイン」に取り組むことで、自然を守り育てるとともに、自然から持続的にその恩恵を受けながら、その中でさまざまな活動を行う「自然と共生する社会」の実現を目指している。

全17編のプレゼンテーション、技術力向上で社会に貢献

日々の創意工夫を全社に水平展開

技術発表会「M-Forum2024」を開催—(株)村尾技建

新潟市の(株)村尾技建(村尾治祐代表取締役)では、社員の技術力向上などを目的とした技術発表会「M-Forum2024」を6月21日に開催。7月22日には、同発表会の表彰式が行われ、最優秀賞に輝いた齋藤百代課長代理(所属:管理部)ら入賞者に村尾代表取締役から表彰状と記念品が贈られた。

技術発表会「M-Forum」は、社会資本整備に必要な地形地質情報など地盤に関する様々なニーズに対応するための技術報文のほか、日々の業務における創意工夫などを発表し全社で水平展開することにより、人材育成や地域貢献に寄与しようと毎年開催しているもので、今年で4回目の開催。

今年度の発表会では、地すべり対策や能登半島地震の災害対応など技術的な発表に加え、働き方改革やBCPなど労働環境に関する発表など全17編の報文が発表され、このうち、最優秀賞1点、優秀賞1点、社長賞1点、特別賞1点が選定された。

村尾代表取締役は講評で「第1回目にくらべ、どの社員も発表能力が向上している」と技術力に加え、発注者や地域住民に対応するためのプレゼン能力やコミュニケーション能力が向上していると発表者を称えた上で「災害対応時には、個人の能力が高くなければ要請に応えられない場面もでてくる。(この発表会を通じて)一層の技術力



講評する村尾代表取締役

向上に努めてもらい、地域にとって必要不可欠な企業となるよう成長を図っていきたい」と社員一人ひとりのさらなるスキルアップに期待を寄せた。

今回の入賞者は次の通り(発表者、発表報文の順、カッコ内は所属と役職)

【最優秀賞】
◆齋藤百代(管理部、課長代理)=ユースエール認定取得に向けて

【優秀賞】
◆松永京子(技術部、課長代理)=阿賀花立地すべりに関する点群データを用いた調査解析事例

【社長賞】
◆漆山凌(技術部)=新潟県糸魚川市小滝地域に分布する中・古生界の地質

【特別賞】
◆椎野実優(技術部)=村上市岩ヶ崎における赤色立体地図を用いた微地形判読事例



今年度の入賞者による集合写真

事務所長表彰に1者1名を選定

局長表彰の1者も表彰状披露

北技・優良委託業務等表彰式

北陸地方整備局・北陸技術事務所はこのほど、令和5年度完成優良委託業務事務所長表彰式を同事務所内で開いた。

今年度は、事務所長表彰の優良委託業務に令和5年度新技術評価等検討業務先端建設技術センター・開発技建設計共同体(業務名=令和5年度新技術評価等検討業務)を、優良建設技術者に須田敦司氏((一社)北陸地域づくり協会・管理技術者、業務名=令和5年度北陸技術事務所建設技

術検討業務)を選定し、渡辺隆幸所長が表彰状を授与した。

また、式典では、事務所所管の委託業務から優良委託業務局長表彰として選ばれた(一社)北陸地域づくり協会(業務名=令和5年度北陸技術事務所建設技術検討業務)の表彰状披露も行われた。



受賞者らによる集合写真

WEB建設速報リニューアル

新機能充実でさらに使いやすくなりました

- ・ **横断検索**で記事も入札も一緒に検索
- ・ **リマインダー機能**で入札結果を✉でお知らせ
- ・ 気になる記事や入札を**お気に入り**に登録 など

※日刊「建設速報」ご購入者様は無料でご利用いただけます。



お問い合わせ
お申し込み

株式会社 **建設速報社**

TEL: 025 (281) 3500(代)
https://www.kensetusokuho.com